

○ 沖縄県

# 沖縄21世紀ビジョン

## 基本計画と実施計画

目指すべき20年後の沖縄へ  
県民みんなで進める、新しい沖縄の設計図

ビジョン

基本計画

実施計画





# ★ 沖縄 21世紀ビジョン及び基本計画と 実施計画の関係

「ビジョン」は  
目指すべき沖縄の20年後の姿  
「基本計画」と「実施計画」は  
ビジョンを実現するための設計図



## 「新しい沖縄づくり」10のポイント

- 1 「沖縄21世紀ビジョン」「基本計画」「実施計画」で構成します。
- 2 県民全体で共有する沖縄の将来像です。
- 3 沖縄のあるべき姿、ありたい姿として「5つの将来像」を示しています。
- 4 沖縄が克服しなければならない「4つの固有課題」を示しています。
- 5 県が主体的に策定する初めての総合計画です。本計画は、沖縄振興特別措置法に基づく沖縄振興計画としての性格を持ちます。沖縄振興特別措置法において拡充された特例措置制度や、自由度の高い沖縄振興(一括)交付金制度を生かし、自らの責任や創意工夫による施策展開を図ります。
- 6 ビジョンの実現のために取り組むべき基本施策を示しています。本計画は沖縄県の施策の基本となるものであり、国、市町村においても尊重されるべきものです。また、県民をはじめ企業、団体、NPOなどの各主体の自発的な活動の指針となります。
- 7 優しい社会と強い経済の好循環関係を構築します。
- 8 平成33年度における沖縄の人口及び社会経済の展望値を示しています。
- 9 基本計画を推進するため、具体的な取組や、取組により得られる効果を表す成果指標を示しています。
- 10 Plan Do Check Action 企画・実施・評価・改善(PDCA)サイクルを確立し、計画を検証し効果的に推進します。

沖縄 21世紀  
ビジョン

沖縄 21世紀ビジョン  
基本計画  
(10年計画)

沖縄 21世紀ビジョン  
実施計画  
(5年計画)





# ★ 沖縄 21 世紀ビジョン 及び 基本計画 と 実施計画 の 内容

## 沖縄 21 世紀ビジョン

平成 22 年  
3 月策定

県民が望む将来(2030年を目途)の沖縄の姿と、  
その実現に向けた取組の方向性等を明らかにした基本構想です。

“時代を切り拓き、世界と交流し、ともに支え合う平和で豊かな「美ら島」おきなわ”をめざします。

### 県民が望む将来像

#### 目指すべき 将来の姿 1 沖縄らしい自然と歴史、伝統、 文化を大切に作る島

- 県民の  
意見
- 多様な生物、動物等の花や緑が島の美しさを引き立て、自然に囲まれた沖縄
  - 暮らしの中に息づいている伝統文化・行事などが世界中で活躍するウチナーンチュの誇りの源となっている沖縄

#### 目指すべき 将来の姿 2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島

- 県民の  
意見
- ユイマールなど「沖縄の心」が受け継がれ、人の和、地域の和を大切にしている沖縄
  - 地域社会の一体感を醸成し、共助・共創型の安全・安心な社会が実現している沖縄
  - 性別、年齢、障害の有無に関係なく、あらゆる場所で活躍できる沖縄

#### 目指すべき 将来の姿 3 希望と活力にあふれる豊かな島

- 県民の  
意見
- 日本とアジア・太平洋地域との架け橋として交通ネットワークが整備され、観光・情報・金融の拠点が形成されている沖縄
  - 働く意欲と能力があれば必ず面白い仕事が見つかる、安定した雇用環境が整備されている沖縄

#### 目指すべき 将来の姿 4 世界に開かれた交流と共生の島

- 県民の  
意見
- 地理的特性を生かして、ヒト・モノ・文化など多様な交流が盛んな沖縄
  - 平和を愛する「沖縄の心」が世界からも注目され世界平和に関わる国際機関などの集積ももたっている沖縄

#### 目指すべき 将来の姿 5 多様な能力を発揮し、未来を拓く島

- 県民の  
意見
- 「人材こそが最大の資源」との考えを共有している沖縄
  - 学力や進学率など教育水準が高く、語学教育が充実している沖縄
  - 県民一人ひとりが個性と能力を存分に発揮し、生きがいを実感し続けている沖縄

### 克服すべき沖縄の 固有課題

#### 固有の課題 1

##### 大規模な基地返還と それに伴う県土の再編

今後の大規模な基地返還跡地については、国の責任の下において適切な土地利用が進められなければならない。

#### 固有の課題 2

##### 離島の新たな展開

離島が持つ適応性や狭小性は生活していく上で様々な難題を生み、人口減少や高齢化の要因となるなど、多くの課題があります。

#### 固有の課題 3

##### 海洋島しよ国 沖縄を結ぶ 交通ネットワークの構築

島々を結ぶ交通手段が海路・空路に限られ、そのコストが移動の大きな障害となっています。また公共交通の利便性向上などの課題を抱えています。

#### 固有の課題 4

##### 沖縄における地域主権と 道州制のあり方

国と地方の関係が抜本的に転換する取組が進捗する中、地域のことは地域自ら考え、未来に対して自ら責任を持つ新たな自治制度の実現が求められています。

## 沖縄 21 世紀ビジョン基本計画(10年計画)

平成 24 年  
5 月策定

沖縄 21 世紀ビジョンの実現に向けた  
「基本方向」や「基本施策」などを明らかにしました。

- 本計画は「沖縄振興特別措置法」第4条第1項の規定に基づく「沖縄振興計画」としての性格を有します。
- 施策展開の効果的な推進のため、「2つの基軸」と「8つの枠組み」を設定しました。
- 基本計画では、
  - 5つの将来像ごとに体系化し、36の基本施策及び118の施策展開を示しました。
  - 克服すべき沖縄の固有課題の解決に向けた施策を示しました。
  - 県内各地域の個性や特長を伸ばすと共に、多彩な地域性が調和する県土づくりを目的に本県を5圏域に分類し、圏域ごとに取り組み施策を示しました。
- 計画に位置づけた各施策が着実かつ効果的に実施された際の平成33年度の人口及び社会経済の姿を定量的に示す「社会経済展望値」を設定しました。



## 沖縄 21 世紀ビジョン実施計画(5年計画)

平成 24 年  
9 月策定

基本計画で掲げた各施策の  
具体的な取組を明らかにしました。

- 基本計画で示された基本施策の「目的」や「目標とする姿」を明示することにより、県民をはじめとした多様な主体の参画と協働を促します。
- 施策展開ごとに「主な課題」や「成果指標」を掲げるとともに、課題の解決に向けた具体的な取組を示しました。
- 克服すべき固有課題ごとの具体的な取組を示しました。
- 圏域ごとの具体的な取組を示しました。
- 「成果指標」を用いた施策効果の検証や、各施策に係る取組の進捗状況の確認などのPDCAサイクルを確立し、計画の着実な推進を図ります。





# ★ 5つの将来像を実現するための“2つの基軸”と“8つの枠組み”



2つの  
基軸

基軸  
1

潤いと活力をもたらす  
沖縄らしい優しい社会の構築  
(県民に安らぎと活力をもたらす、経済発展を支える)



好循環

基軸  
2

日本と世界の架け橋となる  
強くしなやかな自立型経済の構築  
(経済発展により生み出された利益で優しい社会をつくる)



8つの  
枠組み

1 豊かな自然環境の保全と  
薫り高い文化の継承

3 種やかに安全な社会の構築と  
快適で質の高い生活空間の創造

地域コミュニティ



5 リーディング産業と地場産業が好循環構造をもつ経済の構築

移住型産業  
【成長のエンジン】

- リーディング産業の観光リゾート産業や情報通信関連産業
- アジアの活力を取り込む航空・空港型産業(国際物流関連産業)
- 新しい成長産業(健康バイオ、環境・エネルギー、金融)など

外資獲得+所得増による  
域内需要創出



域内産業  
【成長の翼】

- 亜熱帯特性を生かした農林水産業
- 沖縄ブランドを生み出すものづくり産業
- 地域に根ざした小売業、サービス業、建設業、運輸業など

2 ともに支え合い健康で  
生き生きと暮らせる社会の実現

7 離島の定住条件向上等による持続可能な  
地域社会づくり  
(交通コスト低減・生活基盤整備等)

地域社会づくり  
(離島産業の振興、  
国際交流・貢献)

アジアの活力を取り込み  
世界とともに発展する条件整備  
4 21世紀「万国津梁」  
実現の基盤づくり

県土構造の再編等により  
沖縄の潜在力を発揮  
6 駐留軍用地跡地の活用等  
による県土構造の再編

沖縄らしい個性豊かな子どもの育成  
優しい社会の実現を支える人材の育成

産業人材の育成・確保  
沖縄の発展をリードする人づくり

8 将来像実現の原動力となる人づくり

2つの基軸のもとに位置付けた8つの枠組みを 施策連携のコンセプトとして横断的取組を推進

5つの将来像実現に向けた36の基本施策を効果的に推進



# ★ 36 の基本施策



沖縄 21世紀ビジョンで目指す5つの将来像の実現に向けて、沖縄県 等の取り組みを整理・体系化して、36の基本施策にまとめました。

## I 将来像 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にす島(7)

- 自然環境の保全・再生・適正利用
- 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
- 文化産業の戦略的な創出・育成
- 持続可能な循環型社会の構築
- 価値創造のまちづくり
- 人間優先のまちづくり
- 低炭素島しょ社会の実現

## III 将来像 希望と活力にあふれる豊かな島(14)

- 自立型経済の構築に向けた基盤の整備
- 科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成
- アジアと日本の架け橋となる国際物流拠点の形成
- 地域を支える中小企業等の振興
- 離島の特色を生かした産業振興と新たな展開
- 雇用対策と多様な人材の確保
- 離島における定住条件の整備
- 政策金融の活用
- 世界水準の観光リゾート地の形成
- 沖縄の魅力や優位性を生かした新たな産業の創出
- 駐留軍用地跡地の有効利用の推進
- 政策金融の活用
- 情報通信関連産業の高度化・多様化
- 亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興

## IV 将来像 世界に開かれた交流と共生の島(2)

- 世界との交流ネットワークの形成
- 国際協力・貢献活動の推進

## II 将来像 心豊かで、安全・安心に暮らせる島(7)

- 健康福祉セーフティネットの充実
- 健康・長寿おきなわの推進
- 子育てセーフティネットの充実
- 社会リスクセーフティネットの確立
- 地域特性に応じた生活基盤の充実・強化
- 米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決
- 共助・共創型地域づくりの推進

## V 将来像 多様な能力を發揮し、未来を拓く島(6)

- 公平な教育機会の享受に向けた環境整備
- 沖縄らしい個性を持った人づくりの推進
- 自ら学ぶ意欲を育む教育の充実
- 国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築
- 産業振興を担う人材の育成
- 地域社会を支える人材の育成